

山梨県看護協会への入会手続きはお早めに!!
山梨県看護協会会員数 5856人(令和7年3月9日現在)



南アルプス市/仏嗣院大日如来坐像(通称おでいこちゃん)



かんごちゃん



contents

2024年度山梨県看護学会開催報告.....	2	シリーズ キャリアアップへの耳寄り情報〈No.10〉.....	6
委員会の活動紹介		ナースのママ・パパ奮闘記〈No.61〉.....	7
安全推進委員会・社会経済福祉委員会.....	3	Topic & Information.....	7
介護予防事業の取り組み.....	4~5	令和6年度 理事会報告.....	8
うちの職場自慢〈その74〉.....	6	INFORMATION / 編集後記.....	8

笑顔
スナップ!

巨摩共立病院



看護師長と新人



地域包括ケア病棟



NST回診



新人研修

2024年度 山梨看護学会開催報告

—ONE TEAMとして 協働と責務—

山梨看護学会委員会 委員長
武井 泰

今回の学会を開催するにあたり、山梨県看護協会山梨看護学会委員会を始め関係各位、看護学生を含む多くの参加者の皆様方のご理解とご協力のもと無事開催・終了いたしましたことに厚く御礼申し上げます、ご報告させていただきます。

今年度の山梨看護学会は、研究発表とシンポジウムを昨年度同様に公開収録とし開催いたしました。テーマは「看護の深化」です。発表者や周りの関係者様など多くの方の努力により、17演題エントリーがありました。

シンポジウムでは「睡眠の質を高める看護ケアについて考える～可視化されたデータを活用して～」を企画しました。その理由は看護職が病院や施設、在宅において看護の実践をさらに深化させていくため、また看護職として大切にすべきケアを考える機会を増やすことの契機となることを期待したからです。そこで今回は「睡眠と活動状況をデータ化する見守り機器」を用いている実際の看護ケアに焦点を当て医師、在宅看護専門看護師・老人看護専門看護師、理学療法士と4名のシンポジストにご参加いただき多様な職種による議論を展開しました。

また、看護をつなぐ一言写真では、「あなたが大切にしている場面は何ですか？」をテーマに多くの医療関連施設様より写真やメッセージをいただきました。他にも

コロナ禍で自粛していた「企業展示」の再開や看護職の皆様の癒しや学会へ集中できることを優先させるため、「癒しブース」として山梨県立大学アロマサークル様にはアロマオイルを用いたハンドマッサージを実践していただき、「食ブース」では障がい者総合支援法に基づく事業所にご出店いただくなど、学会を盛り上げ支えていただきました。

今回の学会では研究発表やシンポジウム、各々のブースなど、様々な役割や立場における人々の協働と支援により看護活動の発信や活発な討論の場となったことで、山梨県の看護職が一つのチームとしてこれからの看護の進むべき道筋を改めて考え、看護の質向上への着実な歩みを進める推進力の一助となることができたと考えます。

今後は、皆様よりいただいたアンケートなどからのご意見を参考に次年度開催に向け、委員会において検討させていただき山梨県の看護の質向上に寄与できるように引き続き取り組んでまいります。



シンポジウム



演題発表

2024年度 山梨看護学会 看護研究奨励賞

受賞者三人からメッセージをいただきました

精神科身体合併症病棟における看護師の困難な場面と対処



山梨県立中央病院 榎山 真弓

奨励賞を受賞できたことを大変嬉しく思います。

自殺企図患者の急増や高齢化に伴う精神疾患患者の身体合併症併発が増えているため、精神科身体合併症病棟(MPU)の役割や需要は年々高まっています。社会の動向に合わせて質の高い医療が提供できるよう、MPUの要でもある多職種連携の中で専門性を活かした看護実践に取り組んでいきたいと思っております。

身体に障がいのある産婦に対する分娩方法の意思決定支援と育児支援



都留市立病院 船木 恵子

この度は、大変光栄な賞を頂き心より感謝申し上げます。

多職種や地域と協働し妊産婦の想いを支え家族を含めた育児支援など、たくさんの方の事を学ぶ事ができました。

今回の受賞を励みに、今後も患者さんにとって最善の看護をチームで提供できるように努めていきたいと思っております。

最期を迎える場所に意見の相違がある家族への意思決定支援～訪問看護師による家族看護実践～



甲府訪問看護ステーションすずかけ 上原 哲

この度は、看護研究奨励賞を受賞でき大変光栄に思っています。

利用者と家族が最期を迎える場所の意思決定支援は、在宅において訪問看護師に求められる重要な役割だと考えています。

今回の研究で見出した事と学んだ事を生かし、これからも利用者と家族の想いを大切にして望む生活ができるように支援していきたいです。

委員会の活動紹介

山梨県看護協会には各種委員会が設置されています。
今回2つの委員会活動をご紹介します。

安全推進委員会

こんにちは！
安全推進委員会です

安全推進委員会 委員長 井上 亜紀



昨年12月12日「医療安全に関する交流会～あなたの活動や困りごとを教えてください～」を開催し、34人が参加しました。

○話題になったこと（一部抜粋）

1. 職種によって報告件数に差がある（看護師が一番多い）
2. 報告をすると上司に責められる
3. 「そんなことまで報告しなければならないのか」と言われ、報告されずに揉み消されることがある
4. 当事者1人で分析をしている
5. インシデントに関わった人だけで対策を考え、ルールがしばしば変更される
6. 報告が多い人（部署）がインシデントの多い人（部署）とみなされる
7. スタッフからなかなか報告してもらえない
8. 医療安全委員や係への支援体制が脆弱である

○工夫していること

インシデント報告のネガティブなイメージを払拭すべくグッドジョブ賞やファインプレイ賞を選出して表彰し、安全文化の醸成に向けて組織が一丸となって取り組んでいる

皆さんの職場は報告しやすい雰囲気ですか？昨年3月、私たちはJA山梨厚生連健康管理センターの全職員を対象に「インシデント報告は宝物」と題した出前研修を行いました。インシデント報告を収集分析することで再発を 방지、患者さんの安全をより確実に守るため、個人の責任を追及するためのものではありません。組織全体で報告から学び続ける姿勢を持ちましょう。インシデント報告に対する前向きな意識が、看護職を含めた医療従事者全体に浸透することを期待します。

皆さんは看護職賠償責任保険制度に加入していますか？日々の看護業務で起こりうるトラブルやリスクに対してサポートする制度です。ハラスメントに関する相談窓口もあります。安全推進委員会ではこの保険制度への加入を推奨しています。

社会経済福祉委員会

安心して働き続けられる職場環境をつくるためには
健康で安全な職場を実現するための環境づくりについての課題、
解決の方向性を見出そう

社会経済福祉委員会 委員長 漆原 啓太

日本看護協会は、「看護職が生涯を通じて安心して働き続ける環境づくりの推進」の理念のもとに取り組んでおり、その一環として、当委員会では、令和4年度から「労働安全衛生ガイドラインヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」の周知・普及を目的とし、県内60病院の看護部長・師長を対象に研修会を開催しています。



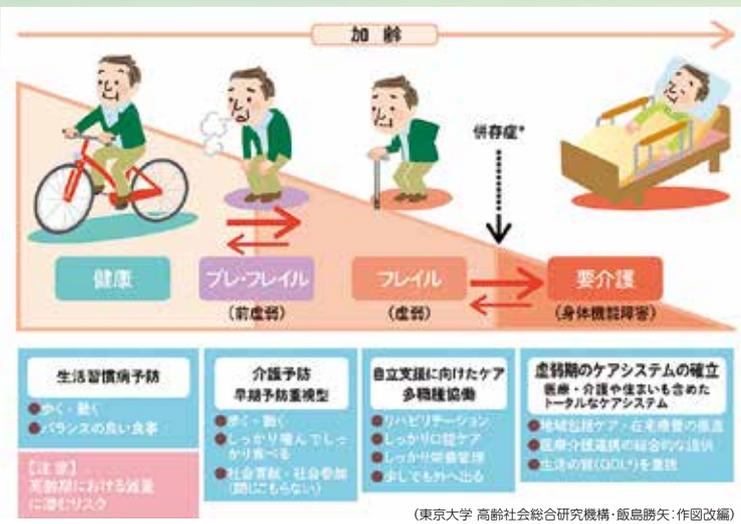
今年度は、日本看護協会の奥村元子先生を招き、自施設の課題を明らかにし、解決の方向性を見出すことを意図した研修会を開催しました。受講者は、明確になった自施設での課題や今後の取り組みの方向性などを発表し、奥村先生から助言をいただきました。また、受講者から、「他施設との情報共有ができ、今後の活動のヒントになった」などの意見が聞かれ、有意義な研修になりました。

次年度も「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）」研修会を開催する予定です。皆様にご参加いただき、共に健康で安全な職場づくりに努めていければと考えております。

詳細が決まり次第、イージーセミナー等に掲載します。

介護予防事業

要介護状態の発生をできる限り遅らせることに取り組んでいます。住民主体の支え合いな



(東京大学 高齢社会総合研究機構・飯島勝矢・作図改編)

甲府市 地域で取り組む甲府市の介護予防事業

甲府市役所健康政策課 堀内 朋美



地域における介護予防は個人や専門職の支援だけでなく、地域住民同士の支え合いの活動により支えられています。例えば、介護認定に至らず元気アップチェックに該当しない高齢者を対象とした「一般介護予防事業」には、「おいし食(く)・楽しく・元気塾」「脳!活性化教室」「お達者くらぶ」等があり、専門職が講師となり健康測定や脳トレ、体操を行っています。また、住民主体の通いの場である「ふれあいくらぶ」「いきいきサロン」でも、身近な地域で集いながら仲間づくり・社会参加を行うことで介護予防が期待できます。詳細は甲府市民健康ガイド、こうふ医療・介護情報、広報等で確認できます。

さらに、元気アップチェック該当者を対象とした「サービス・活動事業」1)には、住民ボランティアが行う「笑顔ふれあい訪問サポート」2)、「笑顔すこやか通所サークル」3)と、専門職が行う「元気運動教室」「わっはっ歯教室」があります。例えば、2)は、生活支援サポーターと呼ばれる住民が本人の自宅に訪問し、日常生活の支援を担います。3)は主催者である住民が行う介護予防や認知症予防の活動に参加できます。1)を利用する場合は地域包括支援センターに相談し、利用開始までの支援(介護予防ケアマネジメント)を受ける必要があります。本人が多様な選択肢から自分に合ったものを選び生活できるよう行政保健師は住民や多職種・他関係機関と連携し、様々な形のサービスを構築し、つないでいます。

※介護保険法に基づき厚生労働大臣が定める基準。25項目により生活機能低下の可能性を把握するもの。(基本チェックリスト)



ふれあいくらぶ



元気運動教室

笛吹市のフレイル

笛吹市

本市では、医療職などで構成されるフレイルサポーターのボランティアであるフレイルサポーターが活躍しています。

保健師は、これらの人材を育成するコースを行ったり、フレイルトレーナー等と定期的な研修を行っています。また、東京大学高齢社会総合研究センターのセミナーに参加し、関係者と共に参加し、全員の参加を促しています。

昨年は、東京大学の飯島勝也教授による講演や、ドラッグストアなどで、簡易フレイルチェックとフレイル予防のPRを行いました。

今年度は、温泉施設や複合施設等でフレイル予防イベントを開催し、広く周知を図るとともに、さらに多くの職種の方々と連携を深めていきたいと考えています。



フレイルサポーター全員集合!



業の取り組み

ことを目的に市町村では、介護予防事業に
ど地域の実情に応じた工夫を伺いました。



予防の取り組みについて

笛吹市長寿支援課 霜村 和江

イルトレーナー・サブトレーナーと、地域住
ーを育成し、フレイル予防の普及を図って

ディネートを担うほか、自主活動の支援を
に情報交換し、事業の企画などを行ったりし
機構(1OG)が主催する月1回のオンライ
国103自治体の方々と意見交換を行って
講演会とサポーターの活動発表を行ったほ



フレイルチェック



市フレイル予防講演会

上野原市

上野原市の介護予防・フレイル 予防事業について

上野原市長寿介護課 横田 由利子



上野原市では、健康寿命の延伸や高齢者が元気に生き生きと暮らせるまちづくりを
目指し、様々な取り組みを行っています。そのうち、今回は二つの事業について紹介さ
せていただきます。

1つ目は、現在の生活機能を維持または改善することを目的とした短期集中型の「は
つらつ元気あっぷ教室(通所型サービスC事業)」についてです。この事業は、リハビリ
テーション専門職や運動指導の講師等と市の保健師が協働し、要支援者・総合事業対象
者に対し運動を中心とした教室を実施しています。参加者は「現在の生活機能の維持」
や「少し前の〇〇ができた自分に戻る」ことを目標に、楽しみながら意欲的に活動され
ています。

2つ目は市内の一般高齢者を対象とした介護予防教室「元気いきいき事業」です。こ
の事業は、各専門職の講話や運動の実践等によりフレイル予防を周知すると共に、メン
バー間の交流を深め、楽しみながら活動できる社会参加の場になっています。またプ
ログラム終了後も、住民主体の活動継続を働きかけ、現在では福祉センター内で21グル
ープ、事業委託している市内施設で3グループが自主的に活動を継続しています。更
に今年度は一つの地区の集会所で事業を実施し、事業卒業後も自主グループとして活
動の継続に繋げることができました。今後も地域の身近な場所での通いの場づくりを
推進し、高齢者が住み慣れた地域で元気に生き生きと暮らせるまちづくりに向け、事業
に取り組んでいきます。



はつらつ元気アッパー教室



元気いきいき事業の
自主グループ活動

身体拘束縮小化に向けての取り組み ～その人をもっと知りたい～

都留市立病院 看護師長会メンバー

今年度の診療報酬改定においても、身体拘束縮小化に向けた取り組みが求められています。

当院でも数年前から、身体拘束縮小化に向けた活動を念頭に取り組んできました。昨年までは、深夜帯の看護師が2人体制でしたが、夜勤帯勤務の負担軽減はもちろんですが、身体拘束縮小化に向けた取り組みもあり、今年度から夜勤は看護師3人体制となりました。

写真は師長会議のメンバーです。以下、メンバーのつぶやきを紹介します。

「夜勤が3人になって、1人の負担が減ったね」「今年の新人さんは少し早めに夜勤にも入れたし」「患者さんの行動パターンにも目を向ける余裕も少し出てきた」「身体拘束カンパレンスも夜間多くできるようになった」「ベットサイドにいる時間も多くなって患者さんのことをもっと知りたいと思うことも多くなった」「夜間の関りが、身体拘束の軽減にもつながるよね」「拘束減らしていく事はその分ベットサイド時間が増えるし、患者さんのことがもっとわかっていいんだけどね」「やることいっぱいあるし、折り合いつけるのは大変だよ」「そうは言っても心を込めた看護ずとして行こうね」

都留市立病院は、これからも「その人らしく」を追求して取り組んでいきます。



個性豊かな26人の保健師たち

笛吹市役所 保健師一同

峠のツインテラスから見る富士山の眺望、春は一面をピンクに染める桃の花、南アルプスに沈む夕日、日本一の果樹王国、いやしの温泉。恵まれた自然環境の中で、とても個性豊かな26人の保健師は、日夜奮闘しています。

保健師は、5課9担当に分散配置しており、子育て支援や、健康増進、障害福祉、介護保険、高齢者福祉、介護予防、健康危機管理など幅広い業務に携わっています。

毎月全保健師が集まる保健師会は、分散配置をしている保健師の情報共有の場であり、円滑な保健師業務の遂行や研鑽の機会となっています。

全員で共有した笛吹市の保健師活動のビジョンは、“予防的視点に立って、個人・家族・地域のセルフケア能力を高めることを支援する” 心豊かに暮らせるまち笛吹市を目指して業務を推進しています。

頑張る保健師一人ひとりも、ワークライフバランスを心がけながら、笑顔で元気に仕事をしています。



SERIES キャリアアップ への 耳寄り情報

No.10

山梨県立大学感染管理認定看護師
教育課程 主任教員

武井 泰

感染管理認定看護師試験 1期修了生全員合格！

山梨県立大学における感染管理認定看護師の特定行為を含む教育は2023年4月に始まりました。履修生は入学後e-ラーニングや対面による専門科目、認定看護師実習や特定行為実習、感染管理プログラム作成などの学習を修了し、感染管理認定看護師認定審査の合格を目指します。

本教育課程を修了した1期生は県内の病院に勤務する14名です。現在は、2期生がこの3月に修了を迎えます。また、新たな取り組みとして3期生からは開講を4月から5月に変更しております。その理由は履修生を送り出す施設において4月は業務環境の変化や新人教育、夜勤などの勤務を行える看護師の変化などにより施設や看護職者への負担が増加することが考えられるためです。

まずは本学の感染管理認定看護師教育課程のオープンキャンパスにご参加いただき直接履修生などと交流をしていただくことで、感染管理の知識を持つメリットや学ぶ楽しさ、同じ目標を持つ学友との貴重な時間について実感していただきたいと思います。今がチャンスです！



微生物学
演習



学外授業

働き続けるために…

ナースの ママ・パパ 奮闘記

仕事と育児 ～パパ頑張ってます～

市立甲府病院 場継 琢也

私は看護師として15年目になり、2016年から現在の市立甲府病院で勤務をしています。妻も正規職員として看護師をしており、勤務調整してもらいながら7歳（男の子）と1歳（女の子）の子育てに奮闘中です。あっという間に過ぎる毎日ですが、休日には家族でアウトドアを満喫し、子供たちのはしゃぐ姿に癒されながらリフレッシュの時間も大切にしています。

現在は外科病棟で勤務をしており、昨年度特定行為研修の参加についてお声を頂き、約1年間の研修を終え、外科術後管理領域の資格を取得しました。当院では特定行為の実績がなく、看護部や診療部からもサポートを受け、少しずつですがPICCの留置やドレーン類の抜去、人工呼吸器の調整などの特定行為を実践しています。

仕事における変化も多い中で、色々な葛藤もありますが、ここまで仕事と家庭の両立ができたのは家族のサポート、職場のスタッフや管理者の方々からの支援のおかげと痛感しています。まだまだ特定看護師としても未熟ですが、これまでの知識や経験を現場に還元し、家庭においても二児のパパとして楽しむことを忘れずに頑張っていきたいと思います。



TOPIC & INFORMATION

山梨県の健康寿命と延伸に向けて

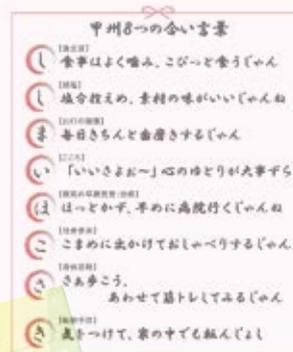
山梨県福祉保健部健康増進課 上田 美穂

健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことで、厚労省が3年毎に公表しています。この健康寿命の最新値（令和4年調査）が、令和6年12月に公表されました。

本県の健康寿命は、男性が73.47年（前回より－0.1年）全国3位、女性は76.16年（前回より－0.58年）全国4位でした。過去3回の調査を含め本県の健康寿命は全国上位5位以内を維持していますが、近年その伸びは鈍化傾向にあり、今回の結果では男女ともに縮小しています。

本県の高齢化は全国平均より高く進展し、人生100年時代を迎えようとしている中で、県民誰もが、より長く、健康に生活できることが重要であり、健康寿命の延伸を目指し、健康づくりの取り組みを更に進めていく必要があります。

取り組みとしては、本県の健康課題を踏まえ健康づくりのポイントをわかりやすくまとめた合い言葉を、関係団体等と共に、県民に広く周知啓発していきます。又、減塩への取り組みを強化するため、産官学等との連携により自然に減塩につながる食環境整備や減塩コーディネーターの養成により減塩指導を行う人材の育成等を新たに行っていきます。



第7回 令和7年1月14日(火)

1. 令和7年度重点事業について(案)
2. 令和6年度第2回地区支部長・役員合同会議について(案)
3. 令和7年度理事会・地区支部長役員合同会議等開催日程(案)
4. 令和7年度日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会日程および参加者について(案)

第8回 令和7年2月12日(水)

1. 令和7年度事業計画について(案)
2. 訪問看護ステーション等組織改編について(案)

第9回 令和7年3月11日(火)

1. 令和7年度資金収支予算及び収支予算について(案)
2. 令和7年度事業計画について(案)
3. 令和7年度地区支部事業計画について(案)
4. 令和7年度地区支部収支予算について(案)
5. 令和7年度常任・特別委員会諮問事項について(案)
6. 定款変更、定款細則及び関係規則の一部改正について(案)
7. 育児・介護休業規程及び関係規則の一部改正について(案)
8. ホームヘルパーステーション給与規程の一部改正について(案)
9. 令和7年度山梨県看護協会通常総会プログラムについて(案)
10. 令和6年度補正予算について(案)

山 梨 県 看 護 協 会 I N F O R M A T I O N



公益社団法人 山梨県看護協会 令和7年度 通常総会を開催します

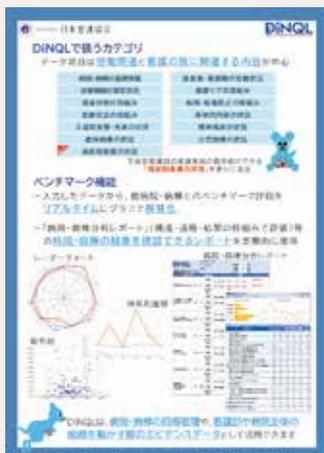
開催日時 令和7年6月20日(金) 9:30~12:30 * 開催時間が午前中になります。

会 場 山梨県看護教育研修センター

■ DiNQL (労働と看護の質向上のためのデータベース事業) 参加病院募集!

DiNQLは、参加病院が入力したデータを用いて、病院・病棟間でのベンチマーク評価ができる、看護の質評価のためのツールです。

看護職が働き続けられる環境整備と看護の質向上を目指し、臨床現場の看護実践の可視化とデータに基づく質評価・改善活動を支援します。



【対 象】すべての病院

【参加費】無料

【ホームページ】 <https://www.nurse.or.jp/nursing/database/index.html>

【参加申込等問い合わせ】

公益社団法人日本看護協会医療政策部看護情報課
03-5778-8495 (平日9時~17時)

■ 2025年度山梨看護学会の演題募集のお知らせ

演題募集期間：2025年5月1日(木)~5月30日(金)

3月中旬以降、準備が整いましたら山梨県看護協会ホームページに下記の内容を掲載します。

演題募集要項・演題申込書・抄録チェックリスト・抄録原稿作成の手引き・学会発表までのスケジュール等
多数の応募をお待ちしています!

お気に入りの
写真



プレゼント

一言：「不器用だけど我が家のアイドルへのプレゼント作りを始めました。育児休暇中の楽しみとして成長記録をパシャリ。これからも続けるよ。」

投稿者：宮下真琴

(社会医療法人加納岩日下部記念病院)

※このコーナーでは、会員の皆様から「お気に入りの一枚」を募集しています。ベッドに限らずご提供よろしくお願ひします。
送信先：senm@yna.or.jp
広報担当

【笑顔スナップ】「巨摩共立病院」

当院は昨年9月地域包括ケア病床を増やし、高齢者の救急医療、急性期病院からの転院受け、在宅療養へ移行するための退院支援、訪問診療の受入等、多職種協働で支援しています。また最期まで口から食べることに拘りながら、巨摩共立歯科診療所とSST活動を行なっています。さらに「共立介護福祉センターももの」が、今年1月看護小規模多機能型居宅介護をオープンしました。

これまで同様、地域の医療・福祉機関の皆さまと連携を図りながら、病気や障がいがあっても、安心して住み慣れた地域で最期まで暮らすことが出来るよう支援したいと思ひます。



編集 後記

温かい季節となり、いよいよ春本番ですね。毎年この時期は家の近くの駅が桜の花で満開になり、穏やかな気持ちになります。

春といえば入学・転勤など自分自身やご家族に何かしら変化のある季節でもあり、つい無理をしがちだと思います。

おいしいものを食べたり、好きな事をしながらお体に気をつけてお過ごしください。